

全国漁業信用基金協会熊本支所

1 熊本県の紹介

熊本県は、人口約173万人（令和3年7月現在）、面積7,309km²、世界有数のカルデラを誇る阿蘇の山々があることから「火の国」と呼ばれています。また、白川水源など国の名水百選に選定された8箇所の名水をはじめ、1000箇所を超える湧水地を擁するなど、豊富な水資源に恵まれた「水の国」でもあります。熊本市とその周辺の計11市町村では、水道水源をほぼ100%地下水でまかっています。

2016年4月の熊本地震から5年が経過した今年4月、日本三大名城との呼び声が高い「熊本城」の天守閣の復旧工事が完了し、6月から一般公開も始まっています。城内すべての工事完了は2037年と先は長いですが、堂々とたたずむその

姿は、復興のシンボル、そして、苦しいコロナ禍にある我々、県民の心の支えになっています。



熊本城天守閣
【写真提供：熊本地震デジタルアーカイブ/提供者：熊本県】

2 熊本県の水産業

熊本県は、海岸線が約1,078kmあります。その理由は、それぞれ特性が異なる3つの海域を抱えているからです。1つ目の海は、有明海です。この海は、4つの県にまたがる九州最大の浅海性内湾です。潮の干満差が大きく、日本最大の干潟や独自の生物相を有しています。また、アサリなどの採貝漁業やノリ養殖が盛んです。2つ目の海は、八代海（不知火海）です。湾北部では干潟域

が広がり内湾性の特徴が強く、湾中部から南部にかけては徐々に外洋性の特徴を有しています。国内でも希少な、風の力で漁をする打瀬船を見ることができる海域です。3つ目の海は、天草灘です。対馬暖流の影響で暖海性を帯び、多くの曾根や瀬が点在していることで、瀬付きの魚や回遊魚などの好漁場となっています。県下最大の漁港がある牛深は、全国40ヶ所のハイヤ民謡の発祥



有明海（ノリ養殖場）
【写真提供：熊本県 農林水産政策課】



八代海（打瀬船）
【写真提供：熊本県観光連盟】



天草灘（牛深ハイヤ祭り）
【写真提供：牛深ハイヤ祭り実行委員会】

の地とされています。毎年開かれる「牛深ハイヤ祭り」では、漁船パレードも行われ多くの観光客でにぎわいます。

熊本県は、海面漁業生産量のうち74%が養殖業と、海面養殖が盛んであり、その産出額は、全国4位(令和元年)となっています。また、養殖業者の認証制度を導入しており、安心安全な養殖魚の生産に力を入れています。(対象魚種:ブリ、マダイ、トラフグ等)



認証マーク(くまモン)

3 熊本支所の概要

- 住所: 熊本市西区新港1丁目4番15号
- 電話番号: 096-329-9400
- 担当理事: 平山 泉
- 担当監事: 南本 健成
- 会員数: 254会員
- 出資総額: 1,165,550千円
- 保証残高: 100件2,105,501千円
- 役職員数: 7名



4 熊本支所の今後の取組み

熊本県では、2016年の熊本地震により、防波堤の損壊や養殖水槽の破損等の被害を受けました。また、昨年の7月豪雨では、養殖魚のへい死・流失、施設の損壊、更には、大量の土砂や流木が漁場に流入し、生産基盤に大きな傷跡を残しました。それに加えて、有明海や八代海(不知火海)では、有害赤潮による養殖魚の被害が頻発しています。

現下の新型コロナウイルス禍による、全国的な事業活動の制限により、主力である養殖魚の飲食店向け出荷量の大幅減少や価格の低下、更には、卸売市場における天然魚取扱量の減少と価

格下落により、地域漁業の置かれた状況は困難を極めています。

このような状況を踏まえ、当支所では、漁業者等の資金融通が安定的に実行されるよう、国の施策を強力に推進するとともに、地方自治体や地域金融機関とも密接に連携し、保証条件の緩和や無利子無担保による新規保証にも積極的に取り組んでおります。

会員の皆様に寄り添い、地域漁業の安定的な発展に資するよう保証業務の推進に取り組んでまいります。